

令和8年度 事業計画

一般財団法人MOA健康科学センター

I. 基本的考え方

現代社会においては、感染症の脅威に加え、生活習慣病や精神疾患の増加、社会的孤立の深刻化、さらには大規模震災による心身への影響など健康課題が複雑化・多様化している。これらに対し、従来の急性期治療を中心とした西洋医学のみによる対応は限界を迎えつつある。こうした状況を鑑み、政府は「攻めの予防医療」を重点施策として掲げ、健康寿命の延伸を通じた生産性の向上、および国民一人ひとりが社会保障の担い手となる社会の実現に向け、全力を挙げて取り組む方針である。今後は単なる寿命の延長に留まらず、健康寿命の延伸を重視する医療へのパラダイムシフトが不可欠である。医療を「受動的に受けるもの」から、国民が自らの人生を豊かにするために「主体的に活用するもの」へと、その関わり方を根本から転換していくことが求められている。

この実現のためには、治療中心の現代医療に、疾病予防と健康増進さらには QOL の向上を踏まえた健康法、そして慢性疾患に対するセルフケアをはじめとしたケアとしての医療を取り入れ、推進することが必要である。統合医療による患者を中心とした疾病の治療とケアを目的とした「医療モデル」と、患者の健康を地域コミュニティや社会全体で支えていくことを目的とした「社会モデル」の両方が補い合い人々の健康へ寄与することが期待される。

令和8年度は、人間の備える自然治癒力を生かす医学及び健康法を利用して健康寿命の延伸を目指し、東京療院をはじめ全国の医療法人・関連団体・健康増進施設との連携を軸に、人間を身体・心・スピリチュアル・社会という側面から総合的に捉えた岡田式健康法（岡田式浄化療法・美術文化法・食事法）を含む統合医療や農医連携による医学・心理社会的なウェルビーイングの調査研究を推進する。これらの成果を講演会やセミナー及び健康度測定等を通じて社会に還元し、疾病予防と健康増進に取り組む。

以上の事業を通じて、ケアを大切にした医療を推進し、本来の医療の目標である健康保持、疾病予防、健康長寿を可能にする「新しい医学」の構築に貢献する。家庭や地域社会における「自助・共助」の健康づくりを多角的に支援し、誰もが健やかに暮らせる「地域共生社会」および「心身ともに健康な人づくりまちづくり」に取り組んでいく。

II. 具体的事業

1. 調査研究事業

上記の基本的考え方に基づき、統合医療の「医療モデル」としての療院（健康増進施設）と「社会モデル」としてのMOA健康生活ネットワークに関わるエビデンスの構築に貢献していく。

(1)は、岡田式健康法をはじめとする各種健康法を取り入れた統合医療の調査研究を記載する
(2)は、上記研究の成果を報告し、岡田式健康法や療院について社会から信頼を得ていくための、論文投稿や発表を行う学会名を示す。(3)では、調査研究の充実を図るための委員会活動を記載する。(4)では、統合医療に関連する情報収集活動や人材交流について示す。(5)では、当財団の社会化に向けて連携して活動する国内外の大学研究機関、学会等を示す。

(1) 統合医療・各種健康法に関わる研究

①症例事例としての研究

- 1) 各療院と連携した症例作成(東京療院、奥熱海療院、金沢療院、札幌療院等への支援)
- 2) 健康生活コミュニティによるケアにより生活習慣が改善した事例研究(島根県の児玉医院との共同研究)
- 3) 相談シートを活用した地域コミュニティとの連携の取り組みについての研究(東京療院への支援)

②食事法・農医連携に関わる研究

1) 継続中の研究

- (a) 自然農法産物の摂取がヒト腸内細菌叢に与える影響に関する研究(農業環境健康研究所との共同研究)(研究番号 2022mhs-31 承認番号 11; 研究番号 2025mhs-46 承認番号 27)
- (b) 有機栽培の技術指導付き市民農園が利用者の主観的な健康に及ぼす影響の調査(農業環境健康研究所との共同研究)(研究番号 2022mhs-27 承認番号 23)

2) 新規の研究

- (a) オーガニック給食を取り入れた保育園児の発育と行動等に関する研究(名古屋経済大学との共同研究)

③美術文化法に関わる研究

1) 新規の研究

- (a) 美術文化法に関する研究(名古屋療院との共同研究)

④岡田式浄化療法に関わる研究

1) 継続中の研究

- (a) 岡田式浄化療法の熟達過程に関する研究(研究番号 2025mhs-48 承認番号 31)

2) 新規の研究

- (a) 施術者を対象にした浄化療法の研究(東京療院との共同研究)
- (b) 慢性疾患患者の PTG と浄化療法についての研究

⑤岡田式健康法に関わる研究

1) 継続中の研究

- (a) PTG と岡田式健康法及び信仰とスピリチュアリティに関する調査研究(日大との共同研究)(研究番号 2023mhs-38 承認番号 22)

(b) 岡田式健康法を取り入れた通所介護事業所の取り組みについての研究(広島介護事業所との共同研究)(研究番号 2023mhs-36 承認番号 26; 研究番号 2024mhs-42 承認番号 26)

(c) AIを用いた血液検査データによる認知症リスク評価と予防に関する研究(東京療院、脳と心の健康科学研究所と共同研究)(研究番号 2024mhs-43 承認番号 28)

(d) 岡田式健康法のライフスタイルと心と体のストレスとの関連について(各地の療院や MOA 関連企業と連携した共同研究)(研究番号 2025mhs-47 承認番号:30)

⑥その他の新規研究の検討

(2) 学会発表および論文などの投稿

① 学術誌への論文投稿

② 編集委員会による研究報告集の作成(30 巻の作成と発刊)

③ 日本統合医療学会、日本生理心理学会、日本応用心理学会、日本有機農業学会等

(3) 研究を推進するために必要な仕組みの充実

① MOA関連の研究に関する審査の充実

② 研究推進委員会・小委員会の充実

③ 倫理審査委員会と利益相反の管理に基づく研究の充実と事業化の検討

(4) 統合医療に関する情報収集および人的交流、人材の育成

① 学会・シンポジウム等への参加

② 文献調査とデータベース化

③ 人的交流および人材の育成

(5) 当財団の社会化に向けた研究機関あるいは各団体等との連携

① タイ国文部省及び衛生省との連携

② いのちの研究会・信仰をもつ医療者の連帯のための会開催のための協力

③ 各種学会との連携と支援(日本統合医療学会、日本応用心理学会、日本生理心理学会、日本有機農業学会、その他学会)

④ 科研費関連の配分機関や研究助成団体・クラウドファンディング等からの研究費獲得の検討

⑤ 共同研究を行っている機関からの研究費の獲得の検討

2. 新しい医学創成に向かうための研究成果の普及、広報活動の事業の充実

賛助会員事業による経済的基盤の充実を図り、MOA や行政及び健康関連団体・教育機関などと協働しながら、健康チェック・セミナー、資料の頒布を行い、寄付金収入を得ていく。また、岡田式健康法の研究成果を分かりやすく社会に紹介する情報の発信に努める。

(1) 賛助会員

現会員への健康度計測や情報提供のサービス、講演会・セミナー等を通して、財団の趣旨・

目的をご理解いただき賛助会員の拡大をめざす。そしてホームページの充実やSNSの有効活用、また講演会などの開催を通して、外部（一般の個人、団体）からの賛助会員入会に取り組んでいく。

(2) 「これからの医療とまちづくりシンポジウム」の地方開催支援

(3) 社会に知らせる取り組みと資料の充実

① 会員誌と資料(冊子、DVD、パネル等)による情報提供

- 1) 研究報告集の活用と外部団体・機関・図書館等への登録(送付)
- 2) 会員誌「21 世紀の健康科学」67 号の発刊
- 3) 会員向けの資料(ニュースレター「すこやかだより」)の発行
- 4) MOA発行の情報誌との連携
- 5) MOAの資格制度(浄化療法、食育、アートヘルスケア等)への情報提供
- 6) 資料(冊子、DVD等)の作成と活用
- 7) 外部雑誌等への研究記事の作成と活用

② インターネット配信の充実

- 1) ホームページの更新と充実(MOA関連団体との連携を図る)
- 2) YouTube およびSNSの更新と充実
- 3) 研究報告集の電子ジャーナルによる発信

(4) 講演会、研究会、セミナー、健康度測定の実施

- ① 各療院・地域と連携したセミナーと健康度測定の実施
- ② 法人会員に対するセミナーや健康度計測の実施
- ③ 行政や教育機関等と連携したセミナーや健康度計測の実施や検討

(5) 新規事業

事業基盤の充実拡大を目指した新規事業の検討

3. 法人管理に関する事業

(1) 理事会ならびに評議員会の開催と運営

理事会と評議員会を開催し、その決裁のもと、事業計画に基づいて事業活動に取り組む。

(2) 経常業務と施設の維持・管理

法人運営に必要な経常業務に取り組み、各施設や什器備品などの維持・管理につとめる。

(3) 職員教育の推進

- ① 法人運営及び事業推進に必要な職員の資質の向上を図る。
- ② 社会と共に取り組むために人権尊重の精神の涵養を目的とする教育を進める。

以 上